

“地域から愛される企業を目指し” お客様に新たな価値を提案する

鉄道事業を基盤に 多岐に渡る事業を展開

1894年に設立された愛知馬車鉄道がルーツの「名古屋鉄道」は、現在、名古屋市を中心に、愛知、岐阜両県にまたがる444.2kmの路線を持ち、地域交通ネットワークの一翼を担っています。鉄道事業を基盤としつつ、^{めいてつ}名鉄グループとして交通、運送、不動産、レジャー・サービス、流通等、多岐に渡る事業を展開し、お客様のニーズに応じた商品・サービスの提供を通して、地域社会の発展に尽力してきました。

2005年には、名鉄グループ経営ビジョンを策定。「私たち名鉄グループは、豊かな生活を実現する事業を通じて、地域から愛される『信

頼のトップブランド』をめざします」という経営理念のもと、ICカードの導入を検討する等、社会の新しい流れに沿った事業への挑戦を開始しました。2009年4月からスタートした中期経営計画では、交通ネットワークのより一層の充実を図ると共に、今後の名古屋駅地区等での再開発を踏まえて都市開発事業を強化。更には地域住民の生活を豊かにする生活サービスを重点事業として、ICカードの導入と利用拡大に取り組む等、各種のプロジェクトを進めてきました。昨今の経済状況や東日本大震災等の困難な出来事もありましたが、着実に歩みを進めているところです。

「manaca」1枚で 多彩なサービスを

旅客サービスと生活サービスの向上を図り、地域のお客様の利便性を高めるために、

2011年2月11日から、ICカード「manaca(マナカ)」のサービスをスタートさせました。

このカードは、電車の改札機やバスの車載機にタッチするだけで利用できる“電子マネー”機能に加え、お客様がmanacaを使って電車やバスに乗ればポイントが貯まるマイレージポイントや、2,600以上の提携店舗でお買い物するとポイントが貯まるサービス「名鉄たまらん」もあり、どちらも貯まったポイントを交通費や買い物等で還元できます。スタート以来、お客様からは好評でmanaca発行枚数は2011年12月末までに204万人分に達しています。

そして、manacaには、もう1つ、“認証機能”という大きな特徴があります。すでに愛知県豊田市のマンション「メイツ豊田浄水」で玄関やエントランス、エレベーター等のキーとして導入が決定。今後に向けて社員証、学生証、診察券等、

名古屋鉄道株式会社
経営企画部長

高崎 裕樹氏

1960年、岐阜県生まれ。早稲田大学卒業後、1984年に名古屋鉄道に入社。レジャー施設の「リトルワールド」の世界民族楽器オーケストラ 名鉄LEEO(リーオ)の立ち上げに関わる。その後、グループ会社の名鉄不動産株式会社に宿泊特化型ホテル「名鉄イン」の設立を主導する等を経て、2007年7月から現部署になり、2011年7月に経営企画部長に就任。経営計画の策定や予算管理、新規事業の検討、更には「名古屋駅地区街づくり協議会」の都市再生委員長として、名古屋駅地区再開発の基本構想を作成する等、広範囲の業務に携わる。



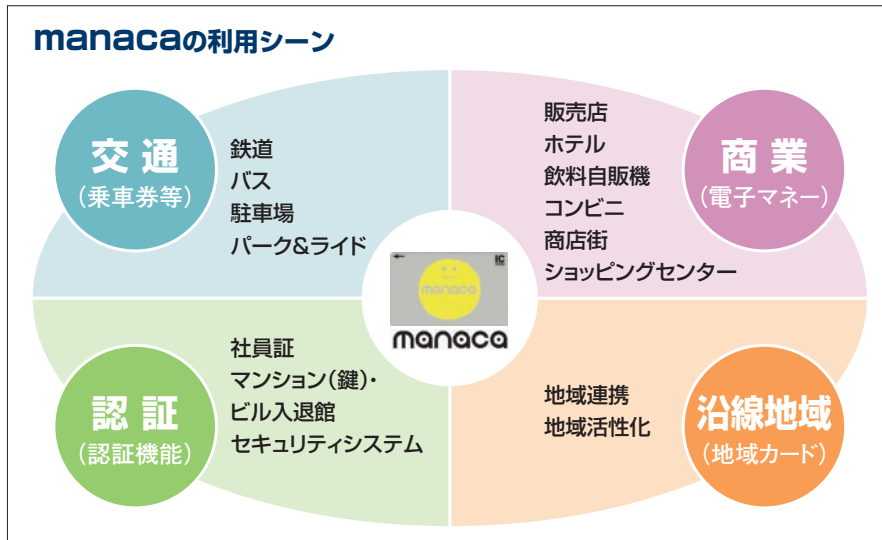
様々な利用法を考えているところ
です。

従来はサービスごとにカードが
発行されていましたが、manaca
は1枚の共通カードで様々なサー
ビスを提供しようという発想から
生まれました。ですから、利用者
にとって利便性が高いのと同
時に、サービス提供者にとってもコ
スト削減等多くのメリットをもた
らします。

情報産業の役割も 果たし Win-Winの 関係を築く

交通機関の利用やお買い物等、
お客様の行動履歴を把握できるの
も、manacaの大きな特徴です。
例えば、どこの駅で降車したお客
様が、どの店で買い物をしたかが
瞬時に分かります。こうした情報
を活用することで、より精度の高
い販促や広告宣伝が可能になるは
ずですので、今後はmanacaを活
用した様々な催しを企画すると同
時に、デジタルサイネージ(電子看
板)等も活用しながら駅を情報の
あふれる場にする試み等もしたい
と考えています。

また、提携店舗とWin-Winの関
係になれるような新しい価値提案
を行い、情報産業としての役割も
果たしていくつもりです。加盟店
の居酒屋でmanacaを使って会計
すると商品等が当たる「ちょいの
みグルメラリー」というキャンペ
ーンを実施したところ大きな反響
がありました。期間中のmanaca
決済利用率が非常に高くなったこ
とから、キャンペーン終了後も参
加店舗のmanaca継続につながり、
加盟店開拓の効果も得ることがで
きました。



このように、manacaは電子マ
ネーや乗車券としての機能以外に
も電子キー等、様々な用途が考え
られます。当社は、この拡張性を
十分に活用し、鉄道を核に地域住
民の生活に密着したサービスを展
開する総合生活サービス産業とし
て、付加価値の高い商品やサービ
スを提供することで、他社との差別化
を図りたいと考えております。

自治体と連携した プロジェクトで 環境に優しい社会を実現

地域密着をめざす当社では、地
元自治体等のプロジェクトに積極
的に参画しています。環境モデル
都市に選定されている豊田市で
は、「豊田市低炭素社会システム実
証プロジェクト」がスタートして
います。このプロジェクトは、生
活者の行動動線に沿って「家庭内」
から「移動」「移動先」ごとに、エネ
ルギーの最適化、低炭素社会の実
現を目指すスマートグリッドの取
り組みです。その中で、鉄道やバ
ス等の交通履歴や駐車場の利用履
歴が把握できるmanacaを、実証
参加者が実際にどのような移動手
段を選択したのかを把握するため

のツールとして利用しようと計画
しています。

同様に地域連携の取り組みとし
て、名古屋駅地区の街づくりにも
参画しています。名古屋駅地区は
2027年のリニア中央新幹線の開
通を控えて、新たな街づくりの構
想が進行中で、当社ではこれに向
けた勉強会に参加し、多方面から
街づくりの検討を進めているとこ
ろです。特に、端末交通(バス、タ
クシー、自転車等)や、歩行者支援
交通(パーソナルモビリティ等)と
いった面で貢献したいと考えてお
り、様々な交通機関をmanaca 1
枚で利用できるようにする等、具
体的な方法を考えているところ
です。

今後も当社は、地域の交通ネッ
トワークをしっかりと担っていき
ます。「鉄道vsクルマ」という対立
の構図ではなく、最寄り駅まで自
動車で行って駐車し、鉄道に乗る
パーク&ライド等による両者の融
合にも取り組み、交通ネットワー
ク全体としての発展に貢献してい
きます。その上で魅力的な街づく
りを進め、お客様に愛され、親しま
れる存在であり続けたいと考えて
います。